

支援体制

専門家

山田 耕造 氏

支援

PF 地域

シニア専門家

相談

機関

島根県よろず支援拠点

企業

株式会社日本ハイソフト

- 業種: ソフトウェア業及び情報処理・サービス業
- 従業員: 47人
- 資本金: 1000(万円)
- 創業: 昭和59年
- 住所: 島根県出雲市西新町1丁目2548-7
- 企業概要: 企業向けパッケージソフト開発販売

支援概要

■支援の経緯

本企業は、1985年創業以来、販売管理、工事管理、在庫管理パッケージソフトの開発を行ってきた。今回原価管理パッケージソフトの開発を手掛けているが、建設業・土木業の実際に即したシステムであるかの検証が不十分である。実施予算の入力が手動入力となり工事管理システムが運用されておらず、月次報告メニュー又は原価管理総括表がなく収益管理発注システムが機能されていない。また、BIMシステムの数量積算機能の連携により新たな市場を発掘したいと当機関に依頼があった。

■専門家による具体的な支援内容

当機関の担当者がヒアリングしたところ、原価管理における工事管理システムの改善及び評価検証が必要だとわかった。また、見積書出力による実施予算の作成及び取り込みについて、BIMシステムの自動積算見積機能により、工事管理システムとの連携を図り、工事管理システム等の総合パッケージとの相乗効果の創出をしたいとの要望があった。そのため、原価管理システムの構築、改善、改良により全国に販売できるパッケージソフトを完成させたいとの要望があったが、当機関に専門的な職員がいなかったため、大手ゼネコンの管理部門、現場の所長を経験し、原価管理システムの構築に関し適切な支援が期待できる本専門家に依頼した。

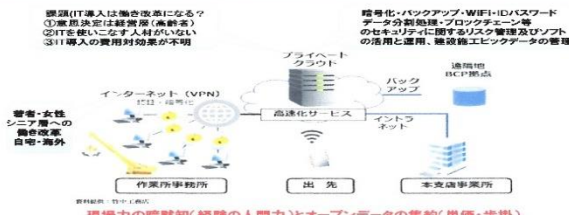
■専門家による具体的な支援内容

原価管理システムのうち、工事管理システムに関わる運用方法等の現状について詳細に把握。また、従来のパッケージソフトをクラウド方式で運用するため、プログラムの調整及びシステム修正を行い、原価管理システムの内、工事管理システムの課題及び改善目標を設定した。また、土木・建築の見積作成システムがExcel等で標準化、実施予算書(工種別)を手動入力から自動化にし、実行予算書(発注別)により適切な該当予算の抽出、約発注・出来高請求処理が円滑化、月次報告書シートにより経営層への数値情報が明確化などにも着手することで、必要な数値情報が共有できるようにした。

成果

経営層に必要な数値情報は、クラウド方式により現場部門からのデータアクセスがタイムリーに可能となり、現場部門の所長と常設部門の経理との情報共有のフラット化が可能になる。原価管理システムとBIMとの連携は、市場性拡大が見込まれる環境化において、原価管理システムの構築、改善、改良により全国に販売できるパッケージソフトの完成がしたと考えている。今後はBIM関連ソフト組合せによる相乗効果の理解と認識についての社内教育を行うことで、連携システム構築等などのナレッジ化することで拡販にも繋げていけると考える。

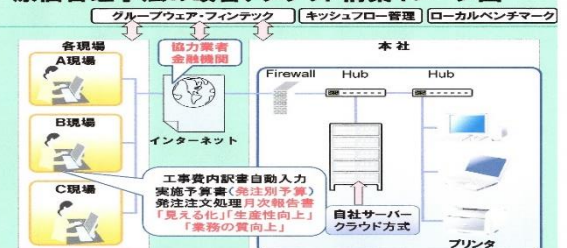
建設施工ビッグデータをIT化するクラウド構成図 (業務プロセスの改善およびシステムの検討が必要)



2017/9/21
カンテックスジャパン 一級建築士事務所

33

原価管理手法の改善、クラウド構築イメージ図



2017/9/21
カンテックスジャパン 一級建築士事務所

40